

道路事業 再評価

一般国道4号 かねがさき 金ヶ崎拡幅

令和3年8月2日
国土交通省 東北地方整備局

1. 事業の目的と概要 一般国道4号 かねがさき 金ヶ崎拡幅

新規事業採択後5年経過

○事業の目的

- ・国道4号の拡幅事業
- ・金ヶ崎町内における国道4号の交通混雑の緩和、交通事故の減少、冬期交通状況の改善
- ・円滑な物流確保による企業活動の支援

○計画概要

起終点 : 自: 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根土橋上
至: 岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原東町

延長(開通済) : 5.2km
幅員 : 26.0m
道路規格 : 第3種第1級
設計速度 : 80km/h
都市計画決定 : 平成28年度
事業化 : 平成29年度
用地着手 : 平成31年度
工事着手 : 令和2年度

事業費・進捗率

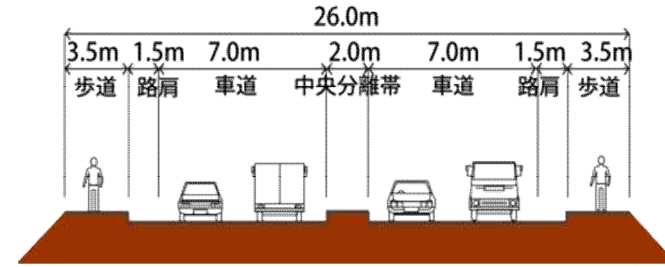
| | 全体事業費 (うち用地費) | 執行済み額 (うち用地費) | 全体進捗率 (用地費) | H29新規 事業採択時 (用地費) |
|----|------------------|------------------|----------------|-------------------------|
| 完成 | 95億円 (5億円) | 6.5億円 (0.3億円) | 7% (5%) | 95億円 (5億円) |

※進捗率・執行済み額は令和3年3月末時点

位置図



標準横断面図



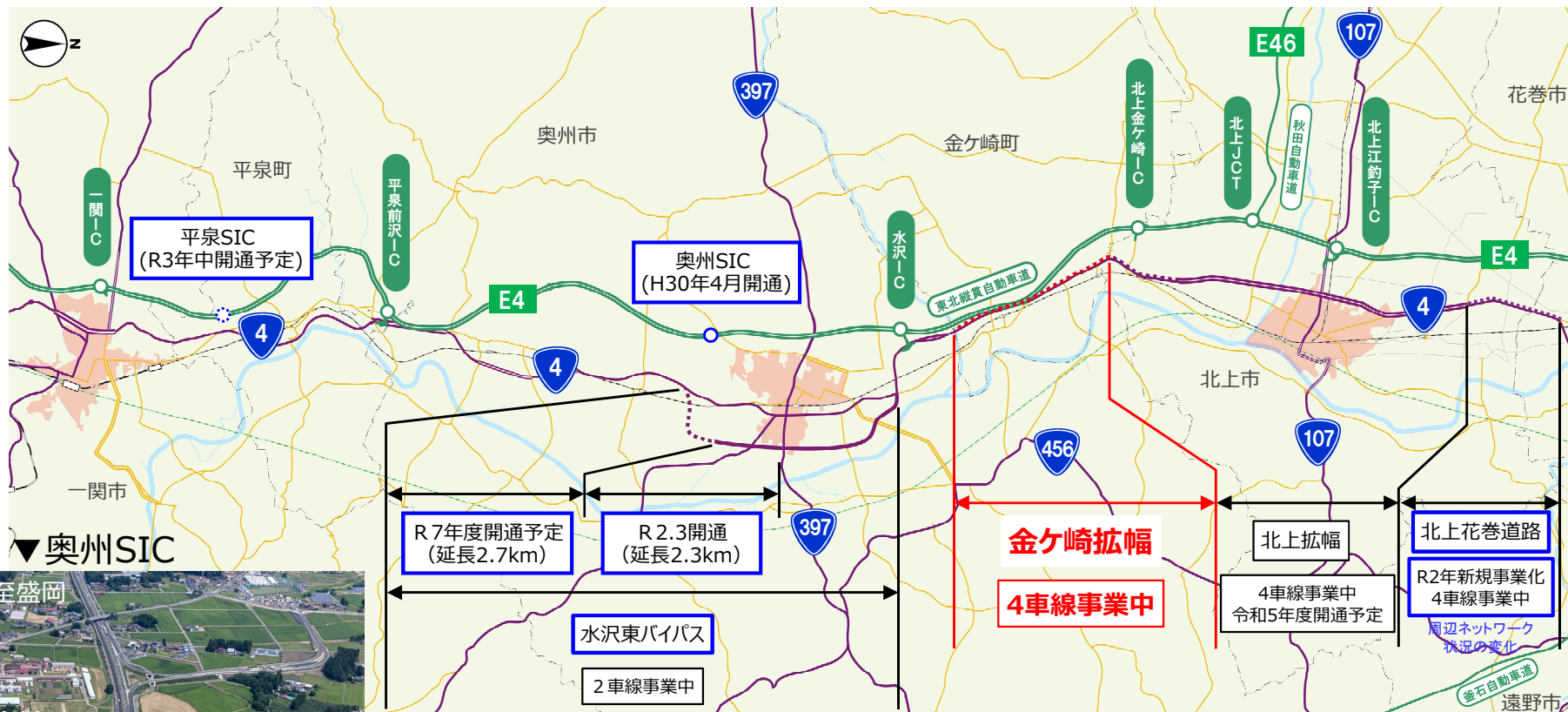
平面図



2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

- ◆東北縦貫自動車道では、平成30年4月に奥州SICが^{おうしゅう}開通。
- ◆令和2年3月に水沢東バイパスの一部区間（延長2.3km）が開通、また、令和7年度に事業中区間（延長2.7km）が開通予定。
- ◆国道4号では、北上花巻道路が^{きたかみはなまき}令和2年度に新規事業化。

▼周辺道路等の変化



| 凡例 | | その他道路凡例 | | その他凡例 | |
|---------|----------------|---------|------------|-------|---------|
| — | : 開通済 | — | : 評価対象区間 | — | : 4車線 |
| □ □ □ □ | : 事業中 | — | : 高規格幹線道路 | — | : 2車線 |
| □ □ □ □ | : 未事業化 | — | : 一般国道 | — | : DID地区 |
| □ | : 前回評価時からの変更箇所 | — | : 主要地方道・県道 | | |

3. コスト削減の取組み事例(歩道拡幅構造(函渠継ぎ足し構造)の見直し)

歩道拡幅構造の見直し (-0.07億円)

- 当初計画時：0.12億円
 - ・ 函渠工の継ぎ足しで計画
- 見直し：0.05億円
 - ・ 張り出し歩道に変更

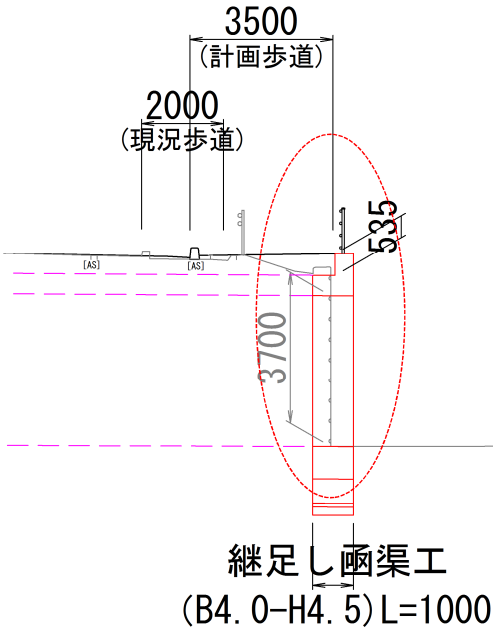
| | 当初 | 見直し | 変動 |
|-------------------|--------|--------|---------|
| 歩道拡幅構造の見直し(函渠2箇所) | 0.12億円 | 0.05億円 | -0.07億円 |
| 合計 | 0.12億円 | 0.05億円 | -0.07億円 |

・現道拡幅に伴う現況函渠の延長不足(歩道側)を、当初計画では、現況函渠を継ぎ足す構造で計画としていたが、継ぎ足し延長が、ごく短いことから、プレキャスト床版を用いた張り出し歩道に変更することによりコスト削減を図った。



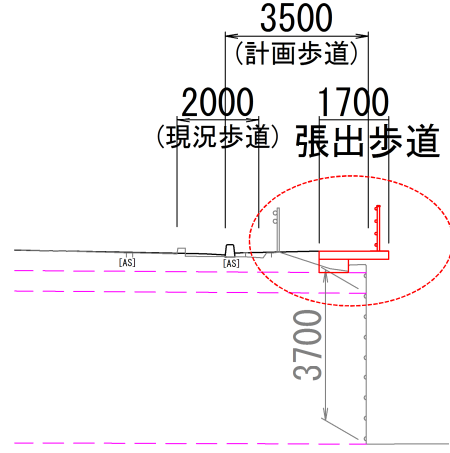
当初

・歩道拡幅構造
【継ぎ足し函渠】



見直し

・歩道拡幅構造
【張り出し歩道】



4. 事業の投資効果

○算出条件・費用便益分析の前回比較

※費用及び便益の合計は表示桁数の関係で計算値と一致しない場合がある。

| | | 前回 | 今回 | 変化 | 変更概要 | |
|-----------------|-----|------------|--------|------|---------------------------------------|---------------------|
| 基準年度(評価年度) | | H28 | R3 | あり | ・新規採択後5年経過による | |
| 事業期間 | | H29~R8 | | — | ・10年間 | |
| 費用便益分析マニュアル | | H20.11 | H30.2 | — | ・H30.2マニュアル改訂(原単位の見直し) | |
| 計画交通量推計年度 | | R12 | | — | | |
| 計画交通量推計OD(フレーム) | | H17OD | H22OD | あり | ・最新ODへの見直し | |
| 計画交通量(台/日) | | 24,300 | 24,000 | -300 | ・NW条件の変化:北上花巻道路 R2新規事業化 ・最新ODへの見直し | |
| 事業費 億円 | | 95 | 95 | — | | |
| 費用便益 億円 | 全体 | 総便益B(現在価値) | 256 | 308 | 52 | ・交通量の減に伴うB/Cの減少 |
| | | 総費用C(現在価値) | 80 | 101 | 21 | |
| | | 費用便益比(B/C) | 3.2 | 3.1 | -0.1 | |
| | 残事業 | 総便益B(現在価値) | — | 308 | 308 | ・前回は新規のため残事業B/C算出なし |
| | | 総費用C(現在価値) | — | 90 | 90 | |
| | | 費用便益比(B/C) | — | 3.4 | 3.4 | |

○今回の費用便益分析



| 全体 (億円) | 便益 B | 走行時間短縮 | 走行経費減少 | 交通事故減少 | 総便益 |
|-------------|------|--------|--------|--------|-----|
| | | 281 | 23 | 5.3 | 308 |
| 費用 C | 事業費 | | 維持修繕費 | 総費用 | |
| | 78 | 23 | 101 | | |
| B/C | | | | 3.1 | |
| 残事業 (億円) | 便益 B | 走行時間短縮 | 走行経費減少 | 交通事故減少 | 総便益 |
| | | 281 | 23 | 5.3 | 308 |
| 費用 C | 事業費 | | 維持修繕費 | 総費用 | |
| | 67 | 23 | 90 | | |
| B/C | | | | 3.4 | |

○今回の感度分析

| 【全体】 | | |
|-------|--------------|-----------|
| 交通量 | :(-10%~+10%) | 2.9 ~ 3.3 |
| 事業費 | :(-10%~+10%) | 3.3 ~ 2.9 |
| 事業期間 | :(-1年~+1年) | 3.2 ~ 3.0 |
| 【残事業】 | | |
| 交通量 | :(-10%~+10%) | 3.2 ~ 3.7 |
| 事業費 | :(-10%~+10%) | 3.7 ~ 3.2 |
| 事業期間 | :(-1年~+1年) | 3.6 ~ 3.3 |

5. 事業の必要性に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等に関する視点

事業目的である、金ケ崎町内における国道4号の交通混雑の緩和、交通事故の減少、冬期交通状況の改善等が必要な状況は変化していない。

2) 事業の投資効果 B/Cは事業全体3.1、残事業で3.4を確保。

3) 事業の進捗状況

道路設計、用地買収を推進。昨年度より改良工事に着手。

6. 事業の進捗の見込みの視点

○令和2年度より工事着手。

○開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。

7. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

○歩道拡幅構造（函渠継ぎ足し構造）の見直しによるコスト縮減を図るとともに、引き続きコスト縮減を検討しながら事業を推進していく。

8. 地方公共団体等の意見

○岩手県知事の意見

1 「対応方針（原案）」案に対して異議ありません。

2 一般国道4号金ケ崎拡幅は、自動車産業など東北有数の産業集積地である北上・金ケ崎地域の渋滞区間の緩和・解消などの効果が期待されることから、早期完成に向けて、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。

また、本事業において検討されたコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。

9. 対応方針（原案）

事業継続

（理由） 金ケ崎内の交通混雑の緩和、交通事故の減少、冬期交通状況の改善等のため、早期整備の必要性が高い。

10. 事業の進捗状況

一般国道4号 金ヶ崎拡幅 工事進捗状況

位置図



① 起点側より終点方面を望む



② 古寺交差点付近



③ 赤鳥居前交差点付近

